

2024年3月期第2四半期
決算説明資料
Financial Results
for 2Q FY2024

総合警備保障株式会社

SOHGO SECURITY SERVICES CO., LTD.

証券コード 2331 (東京証券取引所 プライム市場)
Securities Code: 2331(TSE Prime Market)



Copyright © ALSOK. All rights reserved.  ALways Security OK

それでは、ALSOKグループの2024年3月期第2四半期決算について、ご説明いたします。

1 前年同期比で増収増益、中間期計画を達成

- ・売上高は4.4%増(警備需要は回復基調、沖縄総合警備の新規連結化も寄与)
- ・営業利益率 +0.8ポイント、経常利益率 +0.9ポイント(前年同期比)

2 中期経営計画(GD2025)の財務目標に向け取り組みを進める

- ・社会活動の正常化により警備需要は回復傾向
- ・コロナ前の売上高、利益を上回り、堅調に推移

3 株主還元施策の強化

- ・自己株式の取得(10/6終了、約50億円)

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

まずはじめに、「本日お伝えしたいこと」についてです。

第1に、2024年3月期第2四半期決算は、前年同期比で増収増益、中間期計画を達成しました。社会活動の正常化により、警備需要も回復基調にあります。当社は、引き続き通期計画の達成に向け取り組んでまいります。

第2に、GD2025についてです。第2四半期実績を見ると、警備需要が回復し、コロナ前の売上、利益を上回り堅調に推移しています。引き続き財務目標を目指して取り組んでまいります。こちらについては、後ほどのスライドで説明いたします。

第3に、株主還元の強化についてです。投資家の皆様との対話や経営環境を踏まえ、自己株式を取得しました。今後も、経営環境に応じて総合的に判断していきます。

- 1 決算概要
- 2 業績予想
- 3 ALSOKグループの取り組み

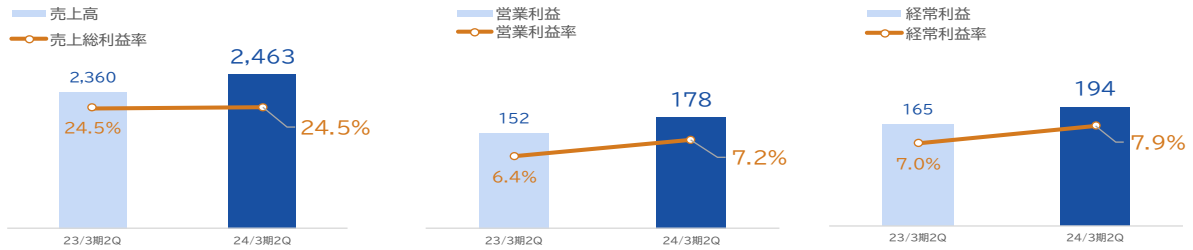
本日は説明する順番は、第1に「2024年3月期第2四半期決算概要」
第2に、「2024年3月期の業績予想」
第3に、「ALSOKグループの取り組み」についてです。

- 1 決算概要
- 2 業績予想
- 3 ALSOKグループの取り組み

それでは、「2024年3月期第2四半期の決算概要」についてご説明します。

■ 売上高・各利益の推移

(単位:億円)



■ 前年同期比・計画比

(参考)

(単位:億円)	23/3期2Q 実績	24/3期2Q 実績	前年同期比	増減率	24/3期2Q 計画	計画比	達成率
売上高	2,360	2,463	103	4.4%	2,450	13	100.6%
営業利益	152	178	26	17.1%	165	12	107.4%
経常利益	165	194	28	17.3%	178	15	108.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	97	118	20	21.4%	111	6	106.3%

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

5 ページは、「売上高・利益の状況」についてです。

2024年3月期第2四半期決算は、前年同期比で増収増益となり、計画比でも、売上高・利益ともに達成しました。

■ 前年同期比

(単位:億円)	23/3期2Q 実績	24/3期2Q 実績	前年同期比	増減率
セキュリティ事業	1,804	1,849	44	2.5%
総合管理・防災事業	302	337	34	11.6%
介護事業	226	252	25	11.1%
その他	26	25	▲1	▲4.3%
合計	2,360	2,463	103	4.4%
(参考) 海外でのサービス提供	29	33	4	15.1%

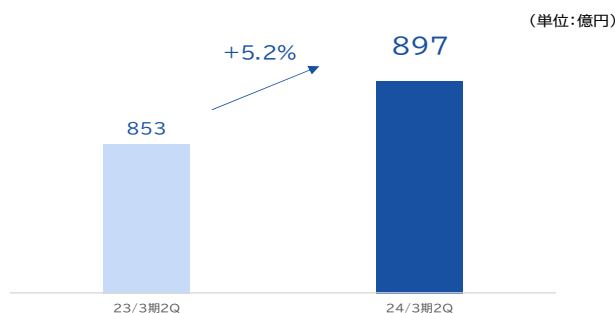
Copyright © ALSOK. All rights reserved.

6 ページからは「セグメント別売上高の状況」についてです。

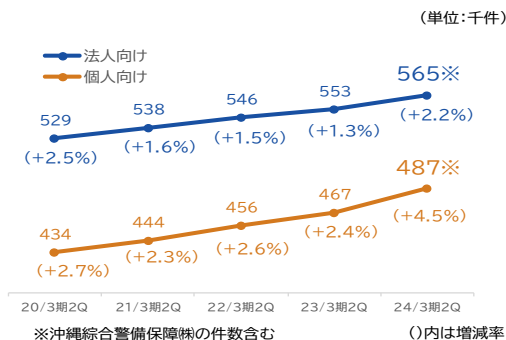
前年同期比については、セキュリティ事業は2.5%増の1,849億円、総合管理・防災事業は11.6%増の337億円、介護事業は11.1%増の252億円でした。

なお、コロナ関連売上は、セキュリティ事業を中心に前年同期比で50億円程度減少しました。

■ 売上高の推移



■ 法人向け・個人向け



■ 前年同期比

(単位: 億円)	23/3期2Q 実績	24/3期2Q 実績	前年同期比	増減率
売上高	853	897	44	5.2%
契約収入	696	707	11	1.6%
工事	27	31	4	15.0%
売却	129	158	29	22.5%

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

7 ページは、「機械警備業務の状況」についてです。

機械警備業務の売上高は、契約件数が順調に増加し、契約収入が前年同期比1.6%増となりました。工事収入は15.0%増、売却収入は22.5%増となり、全体で前年同期比5.2%増の897億円となりました。

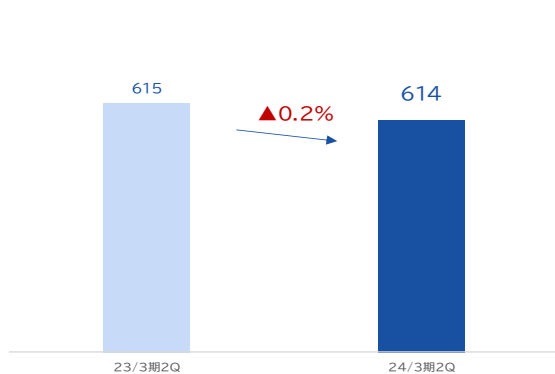
法人向けの機械警備件数は、ライブ画像を確認する機能を標準装備とした、「アルソック ジーセブン」の販売を推進した結果、前年同期比2.2%増の約5万6千5百件となりました。

個人向けの機械警備件数は、本年4月から販売を開始した「ホームアルソック コネクト」や「ホームアルソック みまもりサポート」等を中心に、前年同期比で4.5%増の約4万8千7百件となりました。

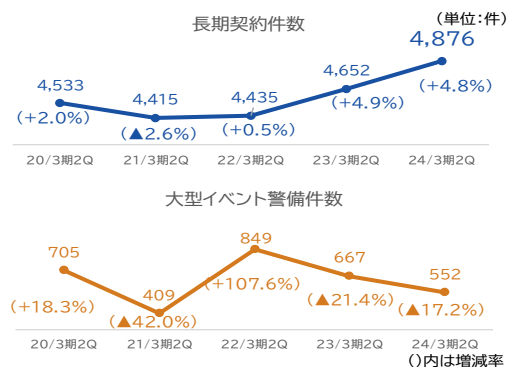
なお、法人向けに比べ契約単価の低い個人向け機械警備の伸びが堅調であったことから、契約収入の伸びは1.6%増に留まっています。

また、連結化した沖縄総合警備保障の機械警備件数が今期実績に含まれています。

■ 売上高の推移



■ 長期契約件数・大型イベント警備件数



■ 前年同期比

(単位:億円)	23/3期2Q 実績	24/3期2Q 実績	前年同期比	増減率
売上高	615	614	▲1	▲0.2%

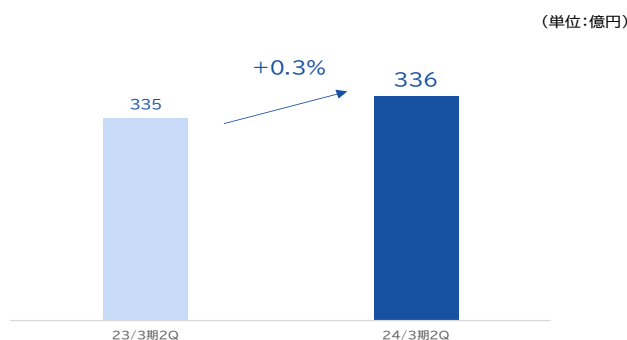
Copyright © ALSOK. All rights reserved.

8 ページは、「常駐警備業務の状況」についてです。

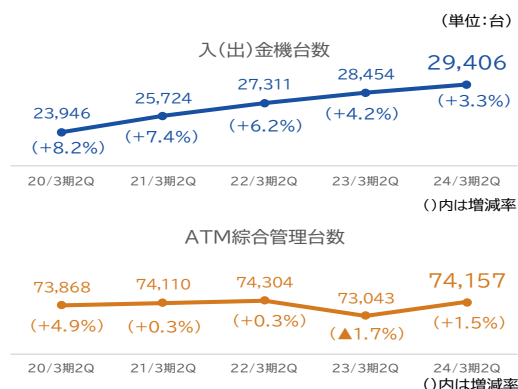
常駐警備業務の売上高は、各種イベントの増加やG7広島サミット売上があったものの、コロナ関連売上が50億円程度減少し、前年同期比0.2%減の614億円となりました。

社会活動が正常化する一方、警備業界では人手不足が課題となっておりますが、当社グループは短期間に大人数の動員を可能とする組織力、DXを活用した総合的な警備提案力を活かして、大型警備等の受注に注力していきます。

■ 売上高の推移



■ 入(出)金機・ATM台数の推移



■ 前年同期比

(単位:億円)	23/3期2Q 実績	24/3期2Q 実績	前年同期比	増減率
売上高	335	336	0	0.3%

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

9 ページは、「警備輸送業務の状況」についてです。

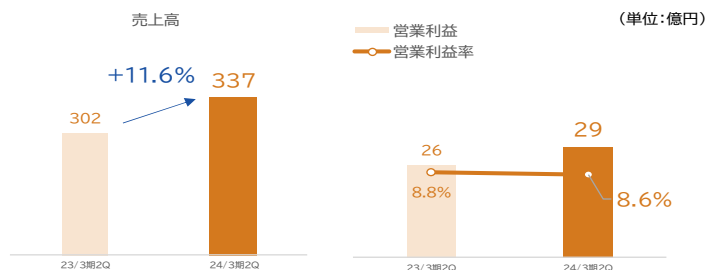
警備輸送業務の売上高は、前期の電子交換所での手形・小切手交換決済開始に伴う輸送業務の終了による売上減少もありましたが、前年同期比 0.3% 増の 336 億円となりました。

キャッシュレス化進展の中においても、現金管理の合理化ニーズは根強く、当社が管理する入(出)金機オンラインシステムの総台数は、前年同期比 3.3% 増の約 2 万 9,000 台となりました。

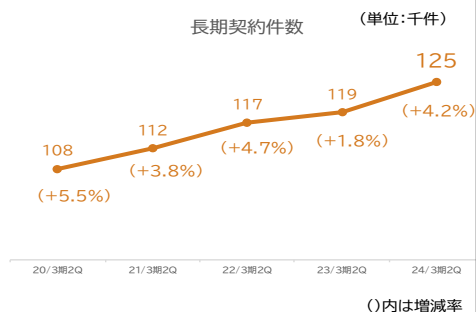
他方、金融機関の合理化の動きが進み、日本全体の ATM 台数が前期末比 2.3% 減少する中、当社が管理する ATM の台数は、前年同期比 1.5% 増の約 7 万 4,000 台となりました。

当社は、引き続き現金の管理運用のみならず、金融機関、事業法人、公共法人の業務効率化や人手不足から生じる各種業務のアウトソース需要を取り込んでまいります。

■ 売上高・利益の推移



■ 長期契約件数の推移



■ 前年同期比

(単位: 億円)	23/3期2Q 実績	24/3期2Q 実績	前年同期比	増減率
売上高	302	337	34	11.6%
契約収入	164	171	7	4.5%
工事	84	103	18	21.9%
売却	53	62	8	16.8%
営業利益	26	29	2	10.1%
営業利益率	8.8%	8.6%	-	-

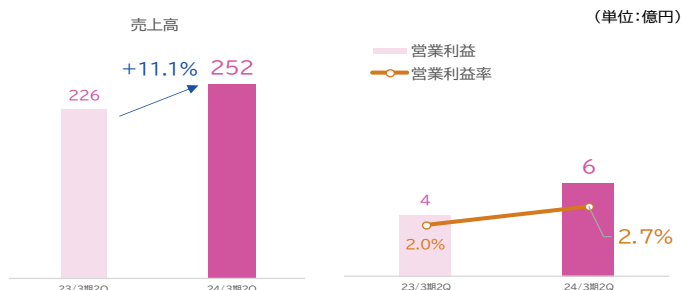
Copyright © ALSOK. All rights reserved.

10ページは、「総合管理・防災事業の状況」についてです。

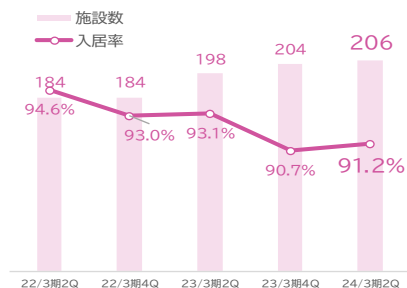
建設工事部門の完工高が堅調に推移したことや省エネ関連機器売上の増加もあり、総合管理・防災事業の売上高は、前年同期比11.6%増の337億円となりました。

当社は引き続き、「警備と設備・工事の融合」のコンセプトのもと、ファシリティマネジメント業務の拡大に努めてまいります。

売上高・利益の推移



入居率と施設数の推移



前年同期比

(単位:億円)	23/3期2Q 実績	24/3期2Q 実績	前年同期比	増減率
売上高	226	252	25	11.1%
営業利益	4	6	2	51.7%
営業利益率	2.0%	2.7%	-	-

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

11 ページは、「介護事業の状況」についてです。

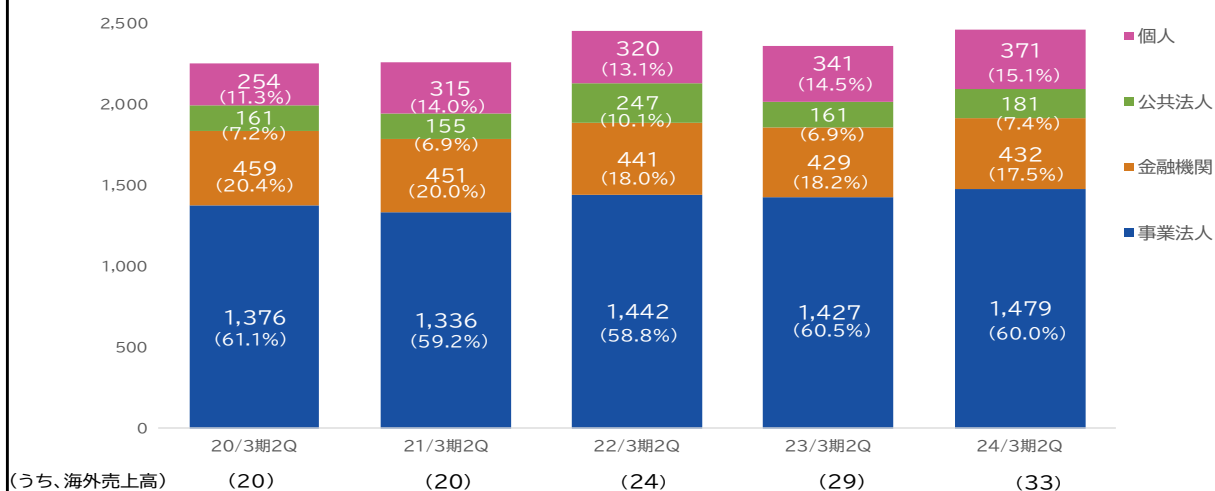
介護事業の売上高は、施設等の入居率が前期末に比べ0.5ポイント上昇したことや、前年のM&A効果により、前年同期比11.1%増の252億円となりました。

当社は、収益性の改善に向けサービス利用客の拡大および入居率の向上に努めるとともに、介護業界における人手不足にも対応し、介護ロボットやセンサー等のDX技術を活用した業務効率化を推進していきます。

■ 売上高の推移

()内は構成比率

(単位:億円)



Copyright © ALSOK. All rights reserved.

12 ページは、「顧客セグメント別売上高の推移」についてです。

一番右側のグラフが2024年3月期第2四半期決算の実績を示しており、
下から、

事業法人向けは、前年同期比3.6%増加し、1,479億円、
金融機関向けは、同じく0.7%増加し、432億円、
公共法人向けは、同じく12.1%増加し、181億円、
個人向けは、同じく8.6%伸びて、371億円でした。

うち、海外でのサービス提供による売上高は、15.1%増の33億円でした。

実績

(単位:億円)	23/3期2Q 実績	24/3期2Q 実績	前年同期比	増減率
売上高	2,360	2,463	103.2	4.4%
売上原価	1,783	1,859	75.7	4.3%
労務費	854	885	30.2	3.5%
外注費	297	278	▲18.5	▲6.2%
減価償却費	70	72	2.3	3.3%
その他原価	307	329	21.9	7.1%
工事・売却原価	253	292	39.7	15.7%
販売管理費	425	426	1.3	0.3%
広告宣伝費	10	11	1.6	16.3%
人件費	257	260	3.3	1.3%
減価償却費	18	17	▲0.3	▲2.0%
その他販管費	139	136	▲3.2	▲2.3%
営業利益	152	178	26.0	17.1%

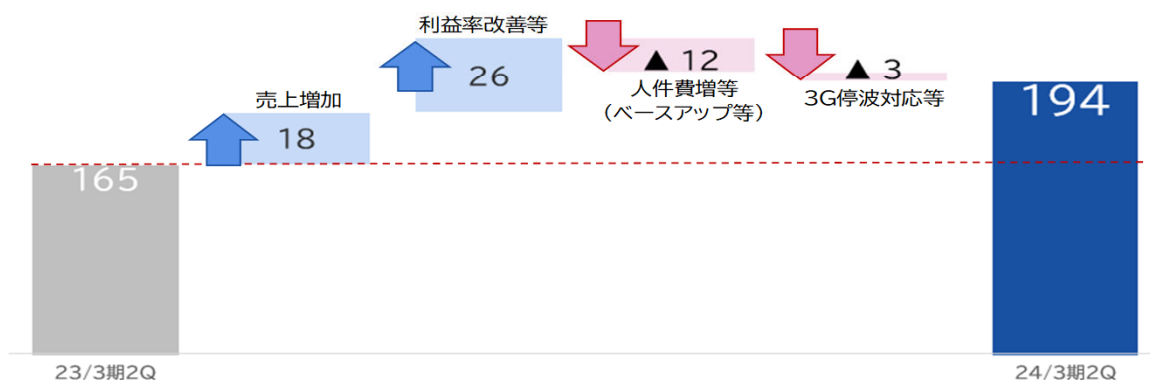
Copyright © ALSOK. All rights reserved.

13ページは、各費用項目について、前年同期比で示したものです。

売上原価は、売上増加に伴う原価増に加え、新規連結の影響等により、前年同期比で75億円増加しました。

販売管理費は、システム関連費用の減少等があったものの、新規連結の影響等により、前年同期比で1億円の増加となりました。

(単位:億円)



Copyright © ALSOK. All rights reserved.

14 ページは、2024年3月期第2四半期の経常利益の増減を2023年3月期第2四半期と比較したものです。

2024年3月期第2四半期の経常利益は、「売上増加」で18億円の増益、「利益率改善等」で26億円の増益、「ベースアップ等の処遇改善等」で12億円の減益、「3G停波対応等」で3億円の減益となり、前年同期比17.3%増の194億円となりました。

なお、人件費に及ぼすコロナ禍の影響は、前年同期と比べ大幅に低減しており、利益改善の一因となりました。

(単位:億円)	23/3期末	24/3期2Q末	前期末比	(単位:億円)	23/3期末	24/3期2Q末	前期末比
流動資産	2,390	2,361	▲28	流動負債	988	939	▲49
現金及び預金	592	728	136	支払手形及び買掛金	296	216	▲79
警備輸送業務用現金	837	695	▲142	短期借入金	78	75	▲3
受取手形、売掛金及び契約資産	653	603	▲50	未払金	211	219	8
その他	306	333	27	その他	402	427	25
固定資産	2,776	2,804	28	固定負債	738	728	▲10
有形固定資産	1,164	1,164	0	長期借入金	20	18	▲2
無形固定資産	441	426	▲15	リース債務	378	371	▲6
投資その他の資産	1,169	1,213	43	退職給付に係る負債	273	271	▲1
				その他	66	66	▲0
				負債合計	1,727	1,667	▲59
				株主資本	3,083	3,114	30
				その他の包括利益累計額	64	88	23
				非支配株主持分	290	294	4
				純資産合計	3,438	3,498	59
資産合計	5,166	5,166	▲0	負債純資産合計	5,166	5,166	▲0

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

15ページは、貸借対照表の主な項目を表示しています。

当連結会計期間における総資産は、前期末比で0.3億円減少し、5,166億円となりました。

現金及び預金が136億円、投資有価証券が27億円、原材料及び貯蔵品が15億円増加した一方、警備輸送業務用現金が142億円、受取手形、売掛金及び契約資産が50億円減少した結果です。

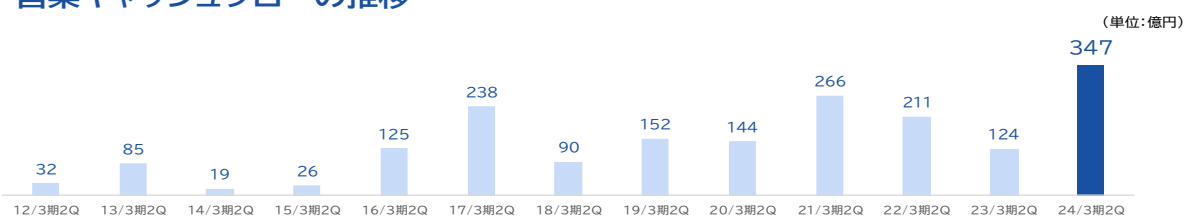
なお、警備輸送業務用現金は季節的要因等により減少しましたが、入金機への投入金額は前年同期比で2.5%増加しています。

負債の部は、前期末比59億円減少し、1,667億円となりました。未払消費税等のその他の流動負債が36億円増加した一方、支払手形及び買掛金が79億円減少したことが主たる減少要因です。

実績

(単位: 億円)	23/3期2Q 実績	24/3期2Q 実績	前年同期比	増減率
営業CF	124	347	222	178.5%
投資CF	▲160	▲73	87	▲54.2%
財務CF	▲100	▲129	▲29	29.2%
現金および現金同等物の 期末残高	504	660	155	30.8%
フリーCF	▲36	273	310	-

営業キャッシュフローの推移



Copyright © ALSOK. All rights reserved.

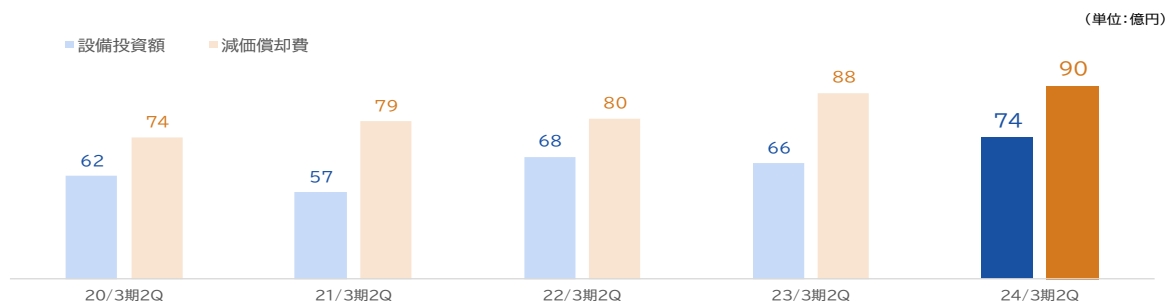
16ページは、キャッシュ・フローについてです。

営業活動の結果、増加した資金は、「347億円」、

投資活動の結果、使用した資金は、「73億円」となりました。

財務活動の結果、減少した資金は、「129億円」です。

設備投資・減価償却費の推移



前年同期比・計画比

(単位: 億円)	23/3期2Q	24/3期2Q	前年同期比	増減率	(参考)		
	実績	実績			24/3期	計画比	達成率
設備投資	66	74	7	10.6%	211	▲136	35.1%
減価償却費	88	90	1	2.2%	191	▲100	47.5%

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

17ページは、設備投資および減価償却費についてです。

2024年3月期第2四半期の設備投資は、74億円となりました。

減価償却費は、主に新規受注に伴う警備用機器等によるもので、90億円となりました。

1 決算概要

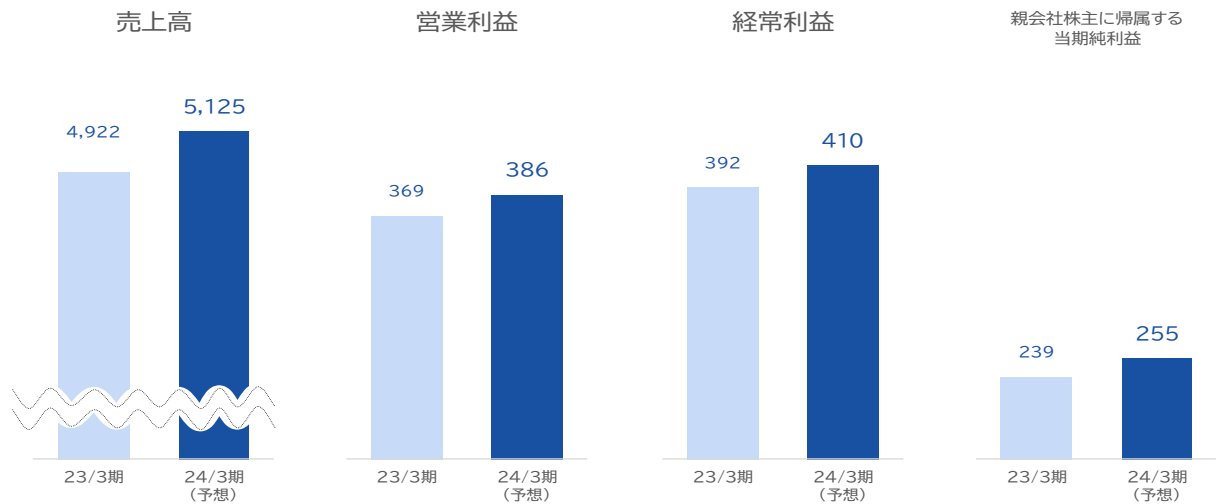
2 業績予想

3 ALSOKグループの取り組み

18ページからは、「2024年3月期の業績予想」についてです。

■ 24/3期 業績予想

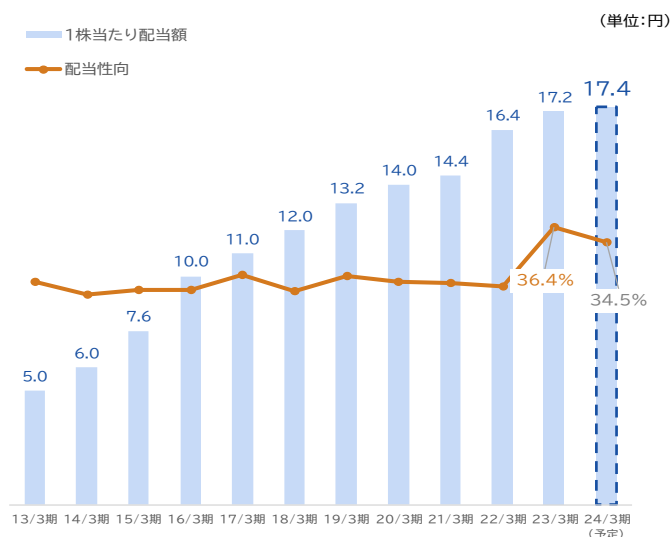
(単位:億円)



Copyright © ALSOK. All rights reserved.

19ページは、2024年3月期の業績予想を、2023年3月期の実績と対比したもので、5月12日に発表した業績予想から変更はありません。

■ 1株あたり配当金の推移



24/3期(予定)

17.4円/年

中間:8.7円(+0.1円)

期末:8.7円(+0.1円)

※業績の変動により変更することがあります。

・自己株式の取得

2023年8月～10月に自己株式の取得を実施。

今後も、経営環境に応じて総合的に判断していきます。

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

20ページは、株主還元についてです。

当社は、2023年8月から10月にかけて自己株式を取得しました。株主還元については、今後も経営環境に応じて総合的に判断していきます。

また、中間配当については、2024年3月期第2四半期決算の実績が堅調に推移したことなどから、中間配当金を1株あたり0.1円増配し、1株あたり8.7円とするとともに、期末配当予想につきましても、期末配当金を1株あたり0.1円増配し、8.7円といたしました。これにより、中間配当を含めた年間配当は、1株あたり17.4円を予定しています。

1 決算概要

2 業績予想

3 ALSOKグループの取り組み

21ページからは、「ALSOKグループの取り組み」についてです。

DXの取り組みについて

デジタル化とデータ活用

- デジタル庁事業「テクノロジーマップの整備に向けた調査研究（アナログ規制の見直しに向けた技術実証等）」における技術実証事業者として採択（2023年10月）



- 経済産業省「令和5年度革新的ロボット研究開発等基盤構築事業」実施事業者として採択（2023年10月）



REBORG-Z

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

22 ページは、DXの取り組みについてです。

デジタル化とデータ活用については、中期経営計画の基本方針のひとつに掲げ、取り組んでいるところです。

昨年よりデジタル庁が進めているアナログ規制の見直しについては、新たなサービスの創出や省人化・効率化の面から注目しており、本年10月には点検規制見直しのための技術検証事業に採択されました。

また、同月、経済産業省の「ロボット研究開発等基盤構築事業」の実施事業者として採択されました。

建物内の自動ドアや電気錠扉の種類が多いこと等が障壁となり、これまで警備ロボットでは対応できなかったエリアでのサービス提供を目指し、複数タイプの扉との連携などについて実証実験を行っています。

■ 警備業界の人手不足への対応

当社グループ動員力の活用・省人化に向けた取り組みの推進で、警備業界の人手不足に対応、安全・安心なイベント運営等に貢献。

Point

グループ動員力

インバウンド需要の回復に伴う警備対応 (空港警備)

訪日外国人旅行者数が増加
→羽田空港・成田空港・那覇空港にて新規・追加業務を開始

16空港(全国97空港中)で
空港保安警備業務を実施



Point

省人化、働き方改革

最新機器を活用した受付業務の省人化 (アバターの活用)

アバターが施設エントランスの受付等を行う取り組みを開始
→1名が複数箇所の受付や案内に対応可能
【イメージ図】



Copyright © ALSOK. All rights reserved.

23ページは、警備業界の人手不足への対応についてです。

インバウンド需要が回復する中、空港における保安検査員の不足が課題となっています。

当社は、業界最大級のグループ動員力を活かして、羽田空港、成田空港における新規業務や那覇空港における追加業務を開始するなど、全国16ヶ所の空港の安全・安心な運営に貢献しています。

また、受付業務の省人化に向けたアバターの活用も始めています。この取り組みにより、将来的には1名で複数箇所の受付対応が可能となることに加え、障がい者や在宅勤務をされている方の柔軟な働き方にも貢献できる見込みです。

この取り組みは、先日開催されたG7広島サミットにも導入されました。

当社は今後も、業界屈指の動員力で警備需要の増加に対応するとともに、省人化に向け、最先端技術を活用した取り組みを進めてまいります。

■ 脱炭素社会の実現に向けた取り組み

各種省エネ・創エネ商材を活用したサービスを通じて、お客様に様々なソリューションを提供。

Topics

太陽光発電施設のトータルサポート

「24時間365日の対応力」で付加価値提供

- ・太陽光パネルの販売から施工、点検までワンストップで管理
- ・機械警備の活用で、防犯に加え、設備異常にも対応

【サービスイメージ】



Copyright © ALSOK. All rights reserved.

24ページは、脱炭素社会に向けた取り組みについてです。

お客様向けの取り組みとして、当社は各種省エネ・創エネ商材を活用したサービスを通じて様々なソリューションを提供しております。

太陽光発電設備において、ソーラーパネルの販売から施工、ドローンを活用した点検にいたるまで、ワンストップでお客様の施設運営をサポートしております。

昨今、発電施設内で銅線ケーブル等の盗難が多発しておりますが、当社の機械警備を導入頂く事で、犯罪抑止に加え、設備異常に対しても迅速な対応が可能です。

今後も、省エネ・創エネに資する商品・サービスを拡充してまいります。

また、社内向けの取り組みとして、当社グループ内のCO₂排出量削減に向け、環境配慮車両の導入、自社施設のLED化、警報機器のリユース促進等、各種取り組みを進めてまいります。

～2023年8月株式取得～

■ PT. Shield-On Service Tbk(SOS社)

- ・インドネシア証券取引所の上場企業
- ・人材派遣、警備、清掃、および駐車場管理サービスを提供

(参考)SOS実績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2022年12月期 (実績)	142億円	3.7億円	3.7億円	2.6億円

※議決権割合(当社):51.2%



(参考)海外事業の展開

- ・2007年から警備サービスを中心に事業展開
- ・7カ国に現地法人を設立
- ・ファシリティマネジメントにまで業務領域を拡大
(タイ、インド)



Copyright © ALSOK. All rights reserved.

25ページは「海外企業のM&A」についてです。

本年8月には、インドネシア証券取引所に上場する唯一の総合アウトソーシング企業である、SOS社の株式を取得しました。当該企業は、人材派遣・警備・清掃サービス等を提供しており、現地財閥のシナルマスグループを大口顧客に持つなど、高い信用力・ブランド力を有しています。

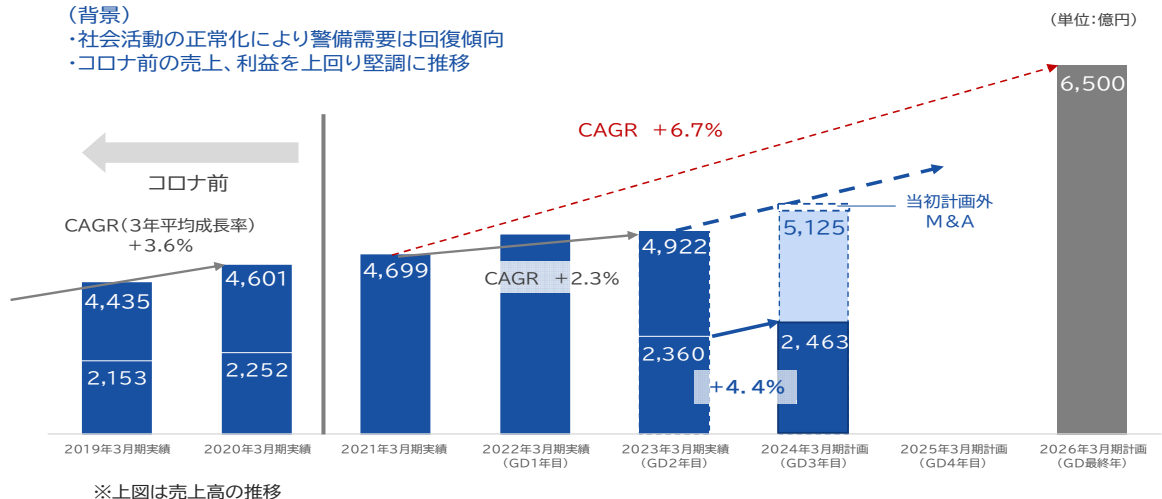
当社は、2007年から海外事業を展開し、現在では、警備サービスのみならずファシリティマネジメントサービスまで提供しています。今後もアジアでの事業展開を一層強化していきます。

■ 中期経営計画(GD2025)について

GD2025の財務目標に向け取り組みを進める

(背景)

- ・社会活動の正常化により警備需要は回復傾向
- ・コロナ前の売上、利益を上回り堅調に推移



Copyright © ALSOK. All rights reserved.

26 ページは「中期経営計画」についてです。

当社は、2021年5月に発表したGD2025の達成に向け、各種取り組みを進めてまいりましたが、2023年3月期までの進捗は、コロナ禍等の影響もあり当初見込みよりも思わしくありませんでした。

第2四半期実績を見ると、警備需要が回復し、コロナ前の売上、利益を上回り堅調に推移しています。世界情勢の変化等、不透明感が強まっていますが、コロナ前の成長軌道へと回復しており、今期の通期計画の達成を見込んでおります。GD2025の財務目標を目指して、引き続き取り組んでまいります。

私からの説明は以上で終わります。

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。

そのため、実際の業績につきましては、経済情勢・競合状況・技術革新等のさまざまな要因により、これら見通しと大きく異なる結果となることがあり得ます。

なお、過去セグメント別実績については、会計基準に基づき、前期分のみ組み替えています。